

平成29年度
盛岡ペットワールド専門学校
自己点検・評価委員会結果報告書

平成30年3月

平成 29 年度自己点検・評価結果報告について

ここに学校法人龍澤学館盛岡ペットワールド専門学校の自己点検・評価結果を公表いたします。

平成 30 年 3 月

学校法人 龍澤学館
理事長 龍澤 正美

平成29年度 盛岡医療福祉専門学校 自己点検・自己評価委員会結果報告書

1. 学校の教育目標

「人と動物のより良い関係づくり」「ペット業界において真に活躍できる人材育成」

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- (1)教育内容(実践型授業の強化、専門授業強化における教員の指導力向上)
- (2)学生支援(学生のキャリアパスにおける支援内容の体系化の実現)
- (3)社会的活動

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

※適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

(1) 教育理念・目標

評価項目		自己点検・ 評価結果※
1	学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
2	学校における職業教育の特色は何か	4
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4
課題	学校の理念、人材育成像について目標を設定している。それに基づいた学生個々人の目標設定を行い、計画や実行を行うことが困難な学生には週報を活用してサポートしている本年度はアドミッションポリシーを作成し、入学希望者のモチベーションを上げる取り組みを行った。カリキュラムポリシーの作成は、課題として残っている。	
改善策	シラバス縮刷版の作成を行い、30年度末までにカリキュラムポリシー及びカリキュラムロードマップの第一案作成を目指す。また、地域の動物愛護などに貢献する機関として、継続して業界団体との連携を取り、教育の質向上に取り組んでいく。	

(2) 学校運営

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2
課題	事業計画に基づく適切な学校運営を行っている。一方、教育の質の見える化、及び、業務効率化については課題を残している。	
改善策	カリキュラムロードマップを作成し、HP等で公開することで教育カリキュラムの可視化を行っていく。また、グループ全体で情報システムの効率化を推し進めていく。	

(3) 教育活動

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
2	教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
6	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4
課題	校内での実習を含め、インターンシップ実習やボランティア活動など企業や団体等の外部と連携をして学生の成長を支援している。一部の学生について目的意識が低い様子もみられる。	
改善策	技術や資格合格指導だけでなく、学生の意欲向上を目的とした研修なども継続して実施する。	

(4) 学修成果

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	就職率の向上が図られているか	4
2	資格取得率の向上が図られているか	4
3	退学率の低減が図られているか	3
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4
課題	これまでと同様、高い就職内定率と資格合格を達成した。退学者に関しては、学校一丸となつての取り組みが奏功し、低い数値で終わった。卒業生の支援としてセミナーの開催を継続している。但し、卒業生の活躍を十分に把握できている状況にはない。	
改善策	退学者防止については、ミーティングの機会での職員間の情報交換を増加する。また、卒業生へのフォローアップについては、卒業生と学校、及び卒業生同士が情報交換をできる状況を増加する。	

(5) 学生支援

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4
7	保護者と適切に連携しているか	4
8	卒業生への支援体制はあるか	3
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
課題	経済的支援体制については、昨年度から引き続きグループ全体での経済支援を加え充実させている。就職などの進路についても高い実績を残すことができた。より高い教育効果を目指し、卒業生を対象とした内容も検討する。	
改善策	卒業生の支援については動物看護師のセミナーを企画して実施する。	

(6) 教育環境

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
3	防災に対する体制は整備されているか	4
課題	経済的支援体制については、昨年度から引き続きグループ全体での経済支援を加え充実させている。より高い教育効果を目指し、環境整備も推進する。	
改善策	看護実習室や一部の教室を改装する。学生の経済的支援については継続をする。	

(7) 学生の受入れ募集

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	学生募集活動は、適正に行われているか	4
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
3	学納金は妥当なものとなっているか	4
課題	広報活動のさらなる改善、および高校でのキャリア教育での講師派遣などを継続して実施することで入学者の減少は最小限で抑えられた。一方、いまだ動物業界での就職については不安定な雇用環境を感じる様子もある。	
改善策	動物関連での活躍や社会的意義について、生徒のみならず保護者、高校教員、および社会人についても伝えていく。小中学生、保護者向けの仕事の体験会等を実施する。また、本校の教務内容を熟知した上での広報活動をなお一層充実させていく。	

(8) 財務

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4
課題	—	
改善策	法人本部で適正に管理・実行しており、財務情報についてはすでにホームページで情報公開している。	

(9) 法令等の遵守

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
		今年
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
4	自己評価結果を公開しているか	4
課題	法令等適切に遵守し、運営を行っている。個人情報保護については継続して教職員の意識向上を怠りなく徹底していく。	
改善策	第三者評価の実施に向け、継続して仕組み作りをグループ全体で構築していく。	

(10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4
課題	本校の強みである、地域貢献、ボランティアは、継続して盛んに行っている。一方で、ここ数年継続して行ってきた被災地活動については、現場の状況の変化に見合った新たな展開が必要と思われる。	
改善策	地域ニーズを関連団体等の連携により収集し、よりきめ細やかな支援を展開していく。	

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

学校関係者評価委員会、及び、教育課程編成委員会における提言を教育活動の改善につなげる仕組みが浸透してきており、教育の質の向上につながってきている。学生募集に関しては、動物関連分野の理解につながる活動を取り入れながら行ってきた成果が、昨年同様見られる年となった。地域貢献活動は、回数・内容ともに充実している。一方、地域に貢献できる機関として成長するため、地域や関連団体との連携をさらに強化していく必要がある。教育の質に関しては、新たな取り組みを取り入れながら、継続して向上していくよう取り組んでいく必要がある。より効率的な事務処理システムの構築、経年劣化による施設の改修等は順次進めていくという課題への対応も必要である。

平成29年度

盛岡ペットワールド専門学校

学校関係者評価委員会結果報告書

平成 30 年 2 月

平成 29 年度学校関係者評価 報告

学校法人龍澤学館 盛岡ペットワールド専門学校では、本校規定に基づき、学校関係者評価委員会を 8 月 9 日に実施いたしました。以下に、その内容を報告いたします。

今後は、各委員からの意見や指導等を真摯に受け止め、より良い教育、より良い学校運営を目指し、教職員一同努力して参ります。

引き続き、一層のご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

1. 学校関係者評価委員

氏名	企業・団体名	部署・役職
佐藤 れい子	岩手大学動物病院	院長
村上 肅	株式会社マルカンペット	代表
佐藤 丈嗣	さくらんぽっこ	
工藤 昌雄	盛岡ペットワールド専門学校	校長
高田 孝一	盛岡ペットワールド専門学校	校長代理
三上 祐太	盛岡ペットワールド専門学校	教務部主任
天瀬 恵美子	盛岡ペットワールド専門学校	教務部
高坂 恵梨香	盛岡ペットワールド専門学校	教務部
吉田 聖	盛岡ペットワールド専門学校	教務部
白川 優佳	盛岡ペットワールド専門学校	事務局

2. 委員会次第

- (1) 開会
- (2) 委員長挨拶
- (3) 開催趣旨説明、委員紹介
- (4) 平成 29 年度学校関係者評価結果について
- (5) 意見交換
- (6) その他

3. 討議内容

本校の教育理念・目標について説明を行った後、「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえて作成した評価項目による自己点検・評価結果について、評価項目ごとに達成状況や取り組み状況、改善対策等について、外部委員の皆様と意見交換した。

(1) 教育理念・目標

学校の教育理念・目標・人材育成像については、高い評価をいただくことができた。今後は学生ひとり一人に対して周知を継続することについての意見があった。一部の学生がさまざまな要因により実習中に意欲をなくすこともあるので、教職員より継続して働きかけを行うことを確認した。また、動物看護師科の4年制大学の設置などから専門学校として差別化を図るべきと意見があった。これに対し、本校の取り組みとして、入学直後に将来の目標を定め、学校生活を送るように指導していることや定期的に振り返る機会の提供や行動計画作成とその実行が困難な学生に対しては、活動計画と報告書を毎週確認するなどのきめ細かい対応により、目標達成のサポートをしていることを説明した。また、今後も根気よく継続する。

(2) 学校運営について

法人本部との連携を図りながら、学校運営を行っていること、また、グループ校間でも情報交換をしながら、業務の効率化を図っていることを説明している。外部委員からは系列校の授業の受講や連携など、様々な視点で学校運営ができるのではないかとアドバイスをいただいたので、引き続き、本部や他校と連携を図ることを確認している。

(3) 教育活動について

現場で活躍することができる人材の育成を目指し、校内はもちろん、インターンシップ実習やボランティア活動など、企業等の外部と連携して学生の成長を促していると説明する。外部委員からは、都市部の学生は明るく積極性が高い傾向があり、地方の学生は消極的な傾向を感じるので対策が必要と言う意見があった。また、インターンシップ実習では、目的意識を持った学生の活動は評価できるので、学校の対応が大切であるとの話があった。これに対し、教員の指導力強化も推進し、研修も率先して取り組みを継続していて、担当教員だけでなくスタッフ全員で対応することを確認している。

(4) 学習成果について

昨年度の就職状況と資格取得状況を説明する。就職活動は、あまり的を絞らずに広い視野を持つよう指導し、その後、学生の意見を尊重しながらサポートをし

ていることに評価があった。学生サポートを今まで以上に継続する。

(5) 学生支援について

現在の卒業生の支援について、動物看護師のセミナーを企画し盛岡で開催することで、県内外の動物看護師をサポートし、情報交換をしながら業界を盛り上げることができるのではないかと委員より提案があった。

卒後教育は、本校としても力を入れたいところであるが、内容、規模など、具体的に詳細を決めてから、開催時期を検討をする。

(6) 教育環境について

教育環境は、学生へ大きな影響を与えるため、より良い環境を提供してほしいとアドバイスをいただき、現在、校内の修繕を計画し、今年度までには実施、修繕などを完了することを確認した。

(7) 学生の受け入れ募集について

学生募集について、現在、どのような活動をしているのか質問があった。業者や高校が仲介する形の説明会、本校でのオープンキャンパス、MCL専門学校グループで開催しているイベント、キャリア講座などで情報発信をしていることを説明し、学生の人数は、業界への発展にも影響するため、今後も様々な取り組みを実施する。

(8) 財務について

財務に関しては、法人本部と連携を図り、問題なく取り組んでいることについて、外部委員より承諾があった。

(9) 法令順守について

法令順守に関しては、法人本部と連携を図り、問題なく取り組んでいることについて、外部委員より承諾があった。

また、学生の個人情報について、保護者へ文書を送り、承諾を得ていることを説明した。

(10) 社会貢献・地域貢献について

現在、行っている地域連携事業について説明した。外部委員から盛岡市内だけでなく、県内の企業と連携し社会貢献していることに高い評価があった。今後も地域との連携をして活動を継続する。

4. まとめ

外部委員の皆様から様々なご提案をいただき、貴重な時間となった。評価や指摘をいただいた内容に関し、さらに職員間で検討し実施を進めることで、より良い学校運営に取り組んでいくことを確認して閉会とした。

以上